

下記スライド例にて COI 開示

様式 1-A 学術講演会口頭発表時, 申告すべき COI 状態がない時

<p>日本透析医学会 COI 開示 筆頭発表者名 :</p>
<p>演題発表に関連し, 開示すべき COI 関係にある企業などはありません.</p>

様式 1-B 学術講演会口頭発表時, 申告すべき COI 状態がある時

<p>日本透析医学会 COI 開示 筆頭発表者名 :</p>
<p>演題発表に関連し, 開示すべき COI 関係にある企業などとして,</p>
<p>① 顧問 :</p>
<p>② 株保有・利益 :</p>
<p>③ 特許使用料 :</p>
<p>④ 講演料 : 例 : (株) ○○○ ① (2013 年)</p>
<p>⑤ 原稿料 :</p>
<p>⑥ 受託研究・共同研究 :</p>
<p>⑦ 奨学寄付金 : 例 : ×××社 ② (2014 年)</p>
<p>⑧ 寄附講座所属 :</p>
<p>⑨ 贈答品などの報酬 :</p>

学術講演会にて、ポスター掲示の最後に COI 状態を開示する。

様式 1-C 申告すべき COI 状態を開示方法

筆頭発表者：演題発表に関連し、開示すべき COI 関係にある企業などはありません。

或いは、

筆頭発表者の COI 開示

- ① 顧問： 例 技術顧問 ① (2012-2014 年)
- ② 株保有・利益：
- ③ 特許使用料：
- ④ 講演料：
- ⑤ 原稿料：
- ⑥ 受託研究・共同研究：例 受託研究① (2012, 2013 年)
- ⑦ 奨学寄付金：
- ⑧ 寄附講座所属：
- ⑨ 贈答品などの報酬：